

# 第3回ものづくりセミナー報告

## 省エネで利益を生み出す体質作りにチャレンジ!

去る2月20日に大阪科学技術センターにおいて、「第3回A T A Cものづくりセミナー」を開催しました。

同セミナーは、お客様からの「A T A Cメンバーの現場体験に基づく改善や開発事例の研修や講演を行って欲しい」との要望にお応えするもので、2012年に開始しました。

第1回は「RWF手法」(2012年)、第2回は「3Dプリンタによる金属積層造形法」(2013年)と題して開催し、何れも活発な意見交換が行われ、その後にコンサルティングに発展したものもあり、好評を博しました。



★ものづくりセミナーの様子

第3回目の今回は、東日本大震災以降の電力需給逼迫や電気料金値上げが中小企業の経営に大きく影響している現状を踏まえ、「省エネで利益を生み出す体質作りにチャレンジ!」と題し、主に中小企業の経営層を対象に、利益を生み出す省エネの考え方、進め方と対策事例について解説しました。セミナーには17名が参加され盛況でした。

今回の講師は、パナソニック出身で、在職中にグループ全社の省エネを中心とした温暖化防止対策に取り組み、退職後は(一財)省エネルギーセンターのエネルギー使用合理化専門員として中小企業の省エネ診断を行っているA T A C会員の小河晴樹が担当しました。

セミナーは前半と後半に分かれ、前半では、電気料金の仕組み、省エネ対策の基本的な考え方や見える化の手法、さらに設備投資の負担軽減に役立つ公的な助成施策の実例を紹介しました。また後半では、節電対策や省エネ対策の具体策について、その取組み内容やポイント、コスト削減効果について説明しました。

すぐ取組みに着手し、夏までに対策を終える  
投資が必要な対策は、補助金等を有効に活用

本日ご紹介した省エネ対策のまとめ

ステップ	投資規模	事例
運用改善	0~小	<ul style="list-style-type: none"> <li>設備稼働時間の調整</li> <li>エアコンプレッサの圧縮空気削減</li> </ul>
設備付加	小~中	<ul style="list-style-type: none"> <li>デマント監視装置の導入</li> <li>空調室外機の吸気温度低減</li> <li>ポンプ・ファン用モータの高効率運転</li> </ul>
設備・工程変更	中~大	<ul style="list-style-type: none"> <li>エアコンプレッサの高効率運転</li> <li>高効率照明の導入</li> <li>太陽光発電の導入</li> </ul>

★説明資料の一例

セミナー後の交流会では、セミナー出席者とA T A Cメンバー、またセミナー参加者相互による活発な意見交換が行われ、大変盛り上がりました。

アンケートの結果では、セミナー、交流会とも大変役に立った、有意義だったとの感想を多くの出席者からいただきました。また、いくつかの企業から具体的なご支援や、訪問セミナー開催のご要望をいただきました。

A T A Cでは、セミナー参加者を始めとした皆様の貴重なご意見を参考にして、今後も中小企業のものづくりの改善・改革のヒントとなるテーマを取り上げ、本セミナーを継続していく予定です。引き続き、「A T A Cものづくりセミナー」へのご支援をお願いします。

(長田・小河記)